

うさぎとかめ通信

上越市立高田幼稚園

(週刊：園長室だより) 106周年

令和4年12月8日

第166号

HPのQRコード→



「思い→体験→表現」は、幼児・児童・生徒に一貫する、遊び・学びの基本！

【速報：12/6、もも組がアリグモを発見！アリに擬態しつつ、糸でぶらさがりました。】

子どもの姿から

【7色の帽子と野ねずみさん】→

発表会の気配が、園内に……。

遊戯室のステージには、えんじ色の幕がとりつけられました。また、保育室で新体操のリボンのようなものをBGMにのって軽快に振っている子どもたちがいきました。「きめポーズ！」という声もあります。あるクラスの棚の上には、耳つきの7色の円すい形の帽子が並んでいました。その脇には野ねずみのぬいぐるみが……。あちこちから、「たこやきマントマン^{ひやたん}」とか「アーニャ」とか「よいしょよいしょ」などの声が聞こえ髭男の曲などが流れています。

「発表会」の気配？と思いつつも、天気がよいと子どもたちは園庭で日光浴しながら元気に遊んでいます。お店屋さんやおばけ屋敷などのごっこ遊びも盛んです。まずは「遊び、遊び」！それが高田幼稚園です。



園庭・園舎から

【恐るべし、たこやきおばけ】→

11月30日(水)に、学校運営協議会を開催しました。

本園の活動の概要を説明し、園児の遊びなどについてほめていただきました。主なご意見を紹介します。

『高田幼稚園の運動会にけんけんずが登場し、まつ組の竹太鼓も誕生会に来園したおもてなし武将隊がきっかけだった。どちらも上越市に関わることで良かった。また、小学生も参加でき、後片付けもしてくれた。てきぱきと動く姿は園児のよい刺激となった。』

『普段の遊びや読み聞かせから、作品展の内容につないでいる。これは教師の地道な大切な仕事である。これが高田幼稚園の取り柄であり、ぜひ継続してほしい。』

『高田幼稚園の子どもは、読み聞かせや絵本に慣れ親しんでいる。ちゃんと聞けて、展開への反応もよい。家庭で絵本などについて話してみしてほしい。』



キーワード

【不思議なボックスとアーニャ】→

○自由進度学習

中央教育審議会で検討している「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を通じた主体的・対話的で深い学びの具体化」を目指した方策の一つです。広島県廿日市市立宮園小学校では、自由進度学習を「学習計画表」に基づいて自分のペースで教科内容を学び進める学習方法と捉えています。その際、教師は子どもたちの自立した学習が成立するように、学習材や学習環境を整えます。

具体的な手立てとしては、学習内容や学習方法を選択できる学習計画表の工夫、自作のワークシートを活用する個への支援の充実、多様な学習コーナーを設置する学習環境の工夫があります。「学びの主体は子どもたち」という共通認識が基本です。

参観された保護者は次のように述べています。「自由に学習させてしまうと、子どもたちが真剣に取り組まないのではないか？なまけてしまうのではないか？と思っていましたが自由＝自分のための学習と捉えて、子どもたちがとても真剣に取り組んでいるのが印象的でした。」(参考：文部科学省のサイト)

